

# CENTENARY

2008. 6. 19  
第 4 号  
兵庫県立加古川西高等学校



教育目標 人格の形成

## 教育実習



6月2日から2週間、3週間の予定で、教員を目指している本校の卒業生18名が母校に戻ってきました。おそらく、これだけ多くの卒業生が、教育実習に戻ってくる学校も県下では、珍しいと思われます。

教科では、国語・地歴・公民・理科(化学・物理・生物)・保健体育・英語・音楽・美術と多岐に渡っています。



この先生の卵たちは、早朝よりきびきびした動作と大きな声で動き回り、登校時には校門で、元気よい挨拶で生徒を出迎え、授業が終われば、それぞれの専門の部活動に参加し、生徒とともに汗を流すなど、母校に大いに活気と刺激を与えてくれました。

実習生全員が、先生として教壇に立ち、活躍してくれることを生徒とともに祈っています。

できれば、母校の教壇立ってくれることを期待します。

## 麻疹発生か?

6月12日に東播磨地区の高校で、麻疹(はしか)の発症者が出たとの情報が入りました。

昨年度は、高校や大学で大流行し、ワクチンの品不足まで起こりました。

県総合体育大会開催後だけに感染を懸念して、本校では、13日の朝に簡単なアンケートを実施しました。

その回答の内容に応じて、養護教諭が面接しました。その数、165名にもなりましたが、そのうち6名の疑わしい症状があり、早急に医師による受診を指示しました。その結果、2名のものが抗体検査を実施しましたが、幸いにも全員が未感染でした。

しかし、麻疹の心配は

なくなつたのですが、体調を崩しやすい時期とはいえ、165名のものが不調者であったことは大きな問題であると捉えています。今後、睡眠や食事、特に朝食といった健康管理について指導を深めて行きたいと思っております。

## 六月全校集会

6月の全校集会での校長講話の抜粋を紹介いたします。一、「挨拶」は、互いの心を快くするものである。動作を止め、相手の目を見て、正しい言葉遣いであるのが礼儀である。すでにできている運動部員もいる。二、文武両道とは、組織をもっていうのではなく、各人がなしえて、真の文武両道という。全員、文武両道を目指せ。三、毎週月曜日早朝に、校内清掃をしているクラブがある。他の生徒にもこの気持ちが広がってほしい。

ちょっと一言 日本には、昔から文化に根付いた素晴らしい言葉があります。「もったいない」などは、外国ではそのままの発音で使われています。また、「お先にどうぞ」も最近聞かなくなりました。「お先にどうぞ」は、相手に時間をプレゼントできる素晴らしい行為です。いずれ、自分もプレゼントされるでしょう。みんなで、心豊かになりましょう。そして